



安全データシート

Copyright, 2021, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	31-0347-0	版	5.01
発行日	2021/07/09	前発行日	2021/07/06

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

3M[®] サルモネラ サプリメント

3M スtockナンバー

70-2007-7435-7

会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	フードセーフティ製品事業部
電話番号	042-770-3572

2. 危険有害性の要約

GHS分類

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性： 区分1

呼吸器感作性物質： 区分1

皮膚感作性物質： 区分1

生殖毒性： 区分2

発がん性： 区分2

水生環境有害性（急性）： 区分2

水生環境有害性（長期間）： 区分2

GHSラベル要素

注意喚起語

危険

シンボル

腐食性 健康有害性 環境

ピクトグラム

**危険有害性情報**

H318	重篤な眼の損傷
H334	吸入するとアレルギー、ぜん息又は呼吸困難を起こすおそれ
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H361	生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
H351	発がんのおそれの疑い
H411	長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き**安全対策**

P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
P202	安全上の注意事項をすべて読んで、理解するまで取り扱わないこと。
P261	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
P284A	換気が不十分な場合呼吸用保護具を着用すること。
P280B	保護手袋／保護眼鏡／保護面を着用すること。
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273	環境への放出を避けること。

応急措置

P304 + P340	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい状態を確保すること。
P342 + P311	呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P302 + P352	皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹸）で洗うこと。
P310	直ちに医師に連絡すること。
P333 + P313	皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。
P308 + P313	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
P321	特別な処置が必要である（このラベルの説明を見よ）。
P391	漏出物を回収すること。

保管

P405	施錠して保管すること。
------	-------------

廃棄

P501	内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。
------	------------------------------------

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
メチシリンナトリウム	132-92-3	80 - 90
マラカイトグリーンシュウ酸塩	2437-29-8	5 - 10
セフスロジンナトリウム	52152-93-9	1 - 3
ナジリクス酸ナトリウム	3374-05-8	1 - 3
ノボビオチンナトリウム	1476-53-5	1 - 3
硫酸ストレプトマイシン	3810-74-0	1 - 3

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

重大な症状や影響はない。毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合： 消化するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

本製品では予想されない。

有害な分解物または副生成物

物質

二酸化炭素
窒素酸化物
硫黄酸化物

条件

燃焼中
燃焼中
燃焼中

消火作業者の保護

ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域から退避させること。新鮮な空気での場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩した物質を出来る限り多く回収する。粉じんを抑えるために、湿めらせるもの又は水をかける。密閉容器に収納する。残さを清掃する。容器を密封する。回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。眼、皮膚、衣類につけないこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。取扱後はよく洗うこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。環境への放出を避けること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。指定された個人保護具を使用する。

保管

酸から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

セクション3に記載されたいずれの成分についても、許容濃度は無い。

ばく露防止策

設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フェーム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨します。

全面マスク

間接式換気ゴーグル

皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。注：保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。

推奨される手袋の材質：樹脂ラミネート。

スプレーや、ハネの多い作業など、ばく露の可能性が高い場合には、つなぎ服などの保護衣を使用する。ばく露評価に基づき、適切な保護具を着用する。保護衣の材質として次のものを推奨する。ポリマーラミネート製エプロン

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：

有機ガス及び微粒子用半面形あるいは全面形防毒・防じんマスク。

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	固体
物理的状态:	粉状
色	オフホワイト。
臭い	ペプトン
臭いの閾値	データはない。
pH	適用しない。
融点・凝固点	データはない。
沸点, 初留点及び沸騰範囲	適用しない。
引火点	引火点>93℃
蒸発速度	適用しない。
引火性 (固体、ガス)	区分されない。
燃焼点 (下限)	適用しない。
燃焼点 (上限)	適用しない。
蒸気圧	適用しない。
蒸気密度/相対蒸気密度	適用しない。
密度	データはない。
比重	データはない。
溶解度	完全に溶解する
溶解度 (水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分配係数	データはない。
発火点	適用しない。
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	適用しない。

揮発性有機化合物	
揮発分	データはない。
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	
モル重量	適用しない。

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有しない。

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

光。

混触危険物質

強酸

危険有害な分解物

物質

条件

知見はない。

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

眼に入った場合

化学物質による眼の薬傷（化学性腐蝕）： 角膜のかすみ、化学熱傷、痛み、催涙、潰瘍、視力障害又は視力損失などの症状。

皮膚に付着した場合

機械的な皮膚刺激： 創傷、発赤、疼痛、かゆみなどの症状。 皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応： 発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。 その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

吸入した場合

気道刺激： 咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。 アレルギー性呼吸器反応： 呼吸困難、喘鳴、発咳、胸部圧迫感などの症状。 キ その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

飲み込んだ場合

飲み込むと、健康障害を起こすことがある。 胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。 その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

その他健康影響情報

生殖毒性

出生異常ないし他の生殖障害性のある化学物質を、単体または混合物として含有する。

発がん性

発がん性のある化学物質を、単体あるいは混合物として含有する。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合があります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	経口摂取		データ無し：計算された急性毒性推定値2,000 - 5,000 mg/kg
メチシリンナトリウム	経口摂取	マウス	LD50 > 4,000 mg/kg
マラカイトグリーンシュウ酸塩	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
マラカイトグリーンシュウ酸塩	経口摂取	ラット	LD50 275 mg/kg
ノボビオチンナトリウム	経口摂取	ラット	LD50 3,500 mg/kg
硫酸ストレプトマイシン	経口摂取	ラット	LD50 430 mg/kg
ナジリクス酸ナトリウム	経口摂取	ラット	LD50 2,040 mg/kg
セフスロジンナトリウム	経口摂取	ラット	LD50 > 15,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
マラカイトグリーンシュウ酸塩	多種類の動物種	刺激性なし

眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
マラカイトグリーンシュウ酸塩	ウサギ	腐食性
ノボビオチンナトリウム	ウサギ	激しい刺激

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
マラカイトグリーンシュウ酸塩	モルモット	区分されない。
ノボピオチンナトリウム	ヒト	感作性あり
硫酸ストレプトマイシン	ヒト	感作性あり
ナジリクス酸ナトリウム	ヒト	感作性あり
セフスロジンナトリウム		感作性あり

呼吸器感作性

名称	生物種	値又は判定結果
セフスロジンナトリウム		感作性あり

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
マラカイトグリーンシュウ酸塩	In vitro	変異原性なし
マラカイトグリーンシュウ酸塩	In vivo	変異原性なし
ナジリクス酸ナトリウム	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
ナジリクス酸ナトリウム	経口摂取	ラット	発がん性

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
マラカイトグリーンシュウ酸塩	特段の規定はない。	発生機能に有毒	公的な分類	NOAEL 非該当	
硫酸ストレプトマイシン	特段の規定はない。	発生機能に有毒	ヒト	NOAEL 非該当	
ナジリクス酸ナトリウム	特段の規定はない。	生殖・発生毒性の分類外	非該当	NOAEL 非該当	

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ノボピオチンナトリウム	経口摂取	血液 肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 非該当	
ナジリクス酸ナトリウム	経口摂取	眼	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 非該当	

吸引性呼吸器有害性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性**水生毒性（急性）**

GHS水生環境有害性（急性）区分2：水生生物に毒性。

水生毒性（慢性）

GHS水生環境有害性（長期間）区分2：長期継続的影響によって水生生物に毒性。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
メチシリンナトリウム	132-92-3		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			N/A
マラカイトグリーンシュウ酸塩	2437-29-8	チャンネルキャットフィッシュ	実験	96 時間	LC50	0.14 mg/l
マラカイトグリーンシュウ酸塩	2437-29-8	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	0.29 mg/l
セフスロジンナトリウム	52152-93-9		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			N/A
ナジリクス酸ナトリウム	3374-05-8		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			N/A
ノボビオチンナトリウム	1476-53-5		推定値	96 時間	LC50	>100 mg/l
硫酸ストレプトマイシン	3810-74-0		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			N/A

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
----	-------	-------	----	-------	------	-------

3M[®] サルモネラ サプリメント

メチシリンナトリウム	132-92-3	データ不足			N/A	
マラカイトグリーンシュウ酸塩	2437-29-8	推定値 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	24 % BOD/ThBOD	非標準的な手法
セフスロジンナトリウム	52152-93-9	データ不足			N/A	
ナジリクス酸ナトリウム	3374-05-8	推定値 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	25 重量%	OECD 301C-MITI (1)
ノボビオチンナトリウム	1476-53-5	推定値 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	35 % BOD/ThBOD	OECD 301F
硫酸ストレプトマイシン	3810-74-0	データ不足			N/A	

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
メチシリンナトリウム	132-92-3	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
マラカイトグリーンシュウ酸塩	2437-29-8	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	5.248	非標準的な手法
セフスロジンナトリウム	52152-93-9	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
ナジリクス酸ナトリウム	3374-05-8	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	3.3	推定値：生態濃縮係数
ノボビオチンナトリウム	1476-53-5	推定値 生態濃縮		オクタノール/水分配係数	1.38	POW 分配係数
硫酸ストレプトマイシン	3810-74-0	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号及び品名： 3077 環境有害物質（固体）

輸送分類（IMO）：9 その他の有害性物質

輸送分類（IATA）：9 その他の有害性物質

容器等級：III

国内規制がある場合の規制情報

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、船舶安全法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

海洋汚染防止法：環境有害物質
船舶安全法、航空法：有害性物質

主な法規制物質

成分	法規名		
	安衛法（表示・通知）	化管法	毒劇法
該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。

16. その他の情報

改訂情報

セクション15：適用法規のステートメント 情報修正。

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時において正確であると信じられるものです。当社は、法的な要求事項を除き、安全データシートに記載の事項について、製品の使用に伴う損失や災害等を補償するものではありません。本安全データシートに記載の内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。したがって、製品が使用目的に合致しているかについては、お客様ご自身でご確認ください。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。